

私たちには、いつもココロでつながっている。

さあ!みんなで世界へふみ出そう!!

二本松青年海外協力隊訓練所

2015年 夏号

Vol.

39

一季刊年4回発行

ADATARA

あ だ た ら



派遣前語学学習に励む
シニア海外ボランティア

「シニア海外ボランティア」～国際協力の最前線へ～

1990年に「シニア協力専門家」として始まった派遣事業

これまで73カ国5748人のシニア海外ボランティアが世界中で活躍してきました。

そして今も66カ国1035人のシニア海外ボランティアが世界中で活躍しています。



JICA
Volunteer

JICAボランティア 現地レポート

福島県出身

from Sri Lanka



コホマダ～？

なかむら よしゆき
中村 善之さん

平成 26 年度 2 次隊

出身地：福島市

派遣国：スリランカ

職種：バドミントン

「コホマダ～？(元気ですか?)」「ママ(私は)ホンダイ！

(元気です！)」

スリランカは南アジア、インドの南東にある島国です。シンハラ族、タミル族などたくさんの人たちが暮らしています。そのため、言語もシンハラ語、タミル語、英語などたくさんの言葉が使われています。宗教は仏教徒の人が多く、毎月満月の日は『ポヤ・デー』と呼ばれる祝日になります。食事はカレーがほとんどですが、日本のカレーとは全く違い、1つのカレーに1つの食材が基本となります。一度の食事でマンゴーカレー、ジャガイモカレー、カボチャカレー、チキンカレー、魚カレーなどたくさんのカレーを楽しむことができます。

そんなスリランカで私はスリランカバドミントン協会(SLBA)に所属し、スリランカ代表選手・ジュニア選手の強化、地方での普及活動等を行っています。毎日練習は早朝5時に始まり、お昼休憩をはさんで夕方の6時過ぎまで！とても暑い国なので毎日運動しているおかげで少しスリムになりました。バドミントンを通して小さな子どもから年配の方までたくさんのスリランカ人と関わることができて楽しい毎日を過ごしています。国や言葉、宗教観など違いはありますが、スポーツの楽しさや笑顔はどこに居ても変わらないことを日々実感しています。残りの期間も一人でも多くのスリランカ人と関わるように積極的に活動していきたいと思います。



スリランカの家庭の味
たくさんのカレーが一度に食べられる。



国際大会でのコーチングも経験しました。



たまにゾウが道を歩いています。



世界遺産が8つもあるスリランカ
遺跡もたくさんあります。



EVENT REPORT

青年海外協力隊50周年記念事業 Rwandaful Summer 2015開催!!

イベント
レポート1



福島大学の学生と旧平石小学校仮設住宅にて(2015.7.19)

青年海外協力隊50周年を記念して7月19日(日)、20日(月)にルワンダフル・サマー2015を開催しました!!

19日は二本松市の旧平石小学校仮設住宅を会場に、福島大学の学生が主体となり「震災から復興を目指す福島の軌跡」と「民族紛争から見事な復興を遂げたルワンダの奇跡」を軸にイベントの企画・運営を行いました。当日は仮設住宅の皆さん、JICA二本松で訓練を受けている訓練生、福島大学の学生など多くの参加者がイベントを楽しみました。

20日は福島市の福島県教育会館大ホールで桑山紀彦さんによる「地球のステージ」やJICA青年海外協力隊経験者、ルワンダ人留学生、高校生など国際協力への考え方や取り組みなどについてトークライブを行いました。

VOICE ボイス

このコーナーでは日頃よりJICA二本松を応援してくれくださっている県内の皆さんにインタビューし、JICAボランティアとのエピソードや期待・エールをうかがっていきます。

今回は、JICAと一緒にイベントを行っている【ルワンダの教育を考える会】の江藤大裕さんにお話を聞きました!!

一ルワンダの教育を考える会ではどのような活動をしていますか?

ルワンダの子ども達の為に学校建設、教育支援を行なっています。そしてルワンダの内戦の事や平和や命の尊さを知つてもらう企画、そして復興に向かって歩んでいる福島の人々が笑顔になれる様なイベントを創っています。なによりも自分が一番楽しんでやっていますが(笑)

一青年海外協力隊はご存じですか?

「はい!!」僕たちにできることは必ずある」という紹



ルワンダの
教育を考える会
江藤 大裕さん

介動画も見ましたが、一方的な指導ではなく、住み慣れない環境で、協力隊員の皆さんか現地の人と一緒に問題を自分事として捉え、解決に向けて考えて、悩む姿はとっても印象的です。ぜひ、皆さん見て頂きたい動画です。

一青年海外協力隊のイメージをお聞かせください!!

とにかく会う人会う人、みんなバイタリティーがあって面白い方々ばかりというイメージです。先日、訓練生の方に会う機会がありました。とにかく超一流の元気印。これでもかっていうくらい目が輝いていましたね。まるでザリガニを取りに行く少年みたいでした(笑)

一今後、JICA二本松とやってみたいこと(イベントなど)はありますか?

7月に青年海外協力隊50周年事業の一環としてJICA二本松さん、福島大学佐野ゼミの学生の皆さんと一緒に「Rwandaful Summer 2015」を開催しました。若い力が躍動し、笑顔と繋がりが生まれる本当に素晴らしいイベントとなりました。今後も若者たちが世界へ大きく羽を伸ばし、ワクワク、ドキドキ

する様な企画を一緒に創っていくたいです。

一最後に世界中で活躍している協力隊員へ一言お願いします!!

あなたの踏み出した一步はとても大きく大きな一步です。フィールドは世界です。

その「好奇心に満ちた瞳」と「あふれんばかりの笑顔」で、全力で駆け回ってきてくださいね! そして大きく成長した姿を見せてください! 世界が待っています、You can do it !!



これから多くのイベントを通してルワンダの復興、そして世界の現状と一緒に発信していきましょう!!



福島に
ゆかりのある

JICAボランティア

2015年 夏号

ADATARA



青年海外協力隊
たかはし よしと
高橋義人さん

- ①会津若松市
②モンゴル
③バスケットボール

目標の一つであった国際協力に、小さい頃から大好きだったバスケットボールを通して参加できることにとても幸せを感じています。スポーツの力を通して、バスケットボールを通して、一人でも多くの子供たちが夢を持つことができる手伝うことがこれからの目標の一つです。

大震災を経験した福島県出身の一人として、世界に感謝の気持ちを持ちながら全力で活動してきます。



青年海外協力隊
ほし あきひこ
星 明彦さん

- ①郡山市
②セネガル
③数学教育

郡山市出身27-2 数学教育で西アフリカのセネガルに派遣の星明彦です。前職はいわき市の幼稚園で幼児教育をしていました。夢だった青年海外協力隊として、セネガルの子どもたちに「考える楽しさ」を伝えています。



青年海外協力隊
ほし ちひろ
星 千尋さん

- ①白河市
②エチオピア
③小学校教育

これまでわたしを支えてくださった、たくさんの方との出逢いのおかげで、今こうして青年海外協力隊に参加することができています。自分の知らない世界へ行き、価値観の違いや文化の違いを直に経験したいです。その中で、自分を成長させ、誰かのために何かを返せるような人になっていきたいと思います。



青年海外協力隊
いいへい
飯部つかささん

- ①南相馬市
②東ティモール
③コミュニティ開発

東日本大震災後にたくさんの開発途上国から支援をいただきました。前職では、被災地で支援者としても活動しましたが、各国からの支援を1人の日本人としてお返しできるように任地の人々と一緒に歩んでいきたいです。

私が中学生の時に、体育選手としてアフリカへ派遣された先生が「青年海外協力隊員」として海外に言ったということは、当時の私にとってすごく印象深かったことを覚えています。

コミュニティ開発という職種を生かし、現地の人々と協働し、より良い活動にできるように頑張ります!

福島県出身
ボランティア

市町村別
派遣中隊員数



着任の
お知らせ



JICA二本松訓練所
訓練3班

上館 文世

初めてまして。世界最古、世界一美しい砂漠「ナミブ砂漠」のあるナミibia共和国でPCインストラクターとして活動していました。JICA二本松訓練所では、候補生の能力、適正強化を目的とした各種講座の運営を担当しています。休日は、福島の美味しいお店をリサーチ中です。宜しくお願いします。



JICA二本松訓練所
訓練2班

三上 歩美

初めてまして三上です。22年度3次隊幼児教育でエチオピアに2年間協力隊として活動してきました。訓練を受けている候補者たちを無事に送ることが今の仕事です。自分の訓練も二本松だったので、懐かしさを感じつつ福島の良さ多くの人に伝えていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

ラジオ番組
ご案内

JICA二本松 公式Facebook



青年海外協力隊の訓練の様子をのぞいてみよう!!

毎日、更新中!

<https://www.facebook.com/jicantc>

ふくしまFM

キミノチカラ、海を越えて
~青年海外協力隊の道~



世界各国で活躍した隊員をゲストに迎え、
参加の動機から任地での活動、帰國後のお話を2週に渡ってたっぷりうかがいます。

毎週土曜／8:30～8:55

FM Mot.Com

世界も、自分も、変えるラジオ



二本松訓練所の訓練生がつくる番組です。
熱い想いが詰まった60分!

第2木曜／13:00～14:00
(再放送:第3木曜/13:00～14:00)

アクセス



独立行政法人国際協力機構
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2

Tel: 024-23-3200 Fax: 0243-24-3214

●本誌に関するお問い合わせ

JICA福島デスク 担当:室井(むろい) Tel:024-524-1315 Fax:024-524-8303

〒960-8103 福島市舟場町2-1 (公財)福島県国際交流協会内